

秋山小学校休校式

秋山小学校体育館で3月2日、休校式が行われました。卒業生や地域住民ら約190人が参加し学校との別れを惜しみました。



いつまでも、
ずっと忘れない

秋山小学校

秋山地区の子どもたちが、かけがえない小学生時代を過ごした学び舎であり、地域の集いの場でもあった秋山小学校。2025（令和7）年3月をもって休校となり、151年の長い歴史にいったん幕を下ろします。

同校は1873（明治6）年に秋山地区の諏訪神社の神殿を教室として開校し、1924（大正13）年に現在地に移転。町村合併を経て1954（昭和29）年、市制施行により串間市立秋山小学校となりました。

1958、1959（昭和33、34）年は全校児童180人が在籍していましたが、その時期をピークに生徒数は減少していきます、2018（平成30）年からは1桁台となりました。

この状況を踏まえて、保護者、地域住民、学校で話し合いを重ね、「集団の中で社会性を身に付け、たくさんの友だちと思い出を作ってほしい」との願いから休校を決断。

今回、地域と一緒に歩んできた学校の歴史、休校式の様子を紹介します。

三
明るく強く 正しきを
みんなの願いと かかげつつ
いそしみ励む 日々楽し
文化の光 さしわたる
果てなき未来へ 夢多き
われらが母校 秋山小

二
秋山川の 流れ清く
歴史は古き 倉掛の
武將の姿 やどすらん
郷土の誇り 育てんと
学びし人は 幾百千
われらが母校 秋山小

一
鯛取山の 美しく
みどり豊かに 風さやか
平和の里は 静まりて
自然の幸の 尽きるなし
ここ秋山の おかに立つ
われらが母校 秋山小

「秋山小学校校歌」
作詞・作曲 布施 武



令和4 秋山校区住民との最後の合同運動会



秋山校区住民との最後の合同運動会

合同運動会は、70年以上前から秋山地区全体で盛り上がる一大イベントとして長年続いてきましたが、校区内の高

齢化や児童数の減少で2022（令和4）年度で最後となり、次年度からは北方小学校との合同運動会を行いました。



秋山小の代名詞 「一輪車」

40年ほど前に一輪車が寄贈されたことをきっかけに、秋山小児童の遊びとなりました。校庭を1周できると「1級」を認定される取り組みなどもあり、合同運動会での披露が伝統行事となりました。

5 創立150周年



被爆地長崎市内小学校への千羽鶴贈呈

平和学習の一環として1983（昭和58）年から毎年、宮崎県原爆被害者の会を通じて、長崎市の爆心地から約600メートルにある山里小学校に千羽鶴を贈りました。

平成26 被爆地長崎への千羽鶴寄贈の取り組みに対して「宮崎日日新聞賞教育賞」受賞

57 全日本バレーボール小学生大会（6人制）県大会で男子が優勝。全国大会でベスト16。

48 創立100周年。校章を「さくら」に制定

29 市制施行により、串間市立秋山小学校に改称

27 福島町、北方村の合併により、福島町立秋山小学校に改称

昭和24 北方村立秋山小学校に改称

大正13 現在地に移転

7 字下吐合校舎を建て、秋山小学校に命名

明治6 秋山の諏訪神社の神殿を教室として開校

秋山小学校沿革（主なできごとを抜粋）